

平成 26 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 精工技研
 代表者名 代表取締役社長 上野昌利
 (コード番号 6834)
 問合せ先 管理部長 斎藤祐司
 (TEL. 047 - 388 - 6401)

平成 26 年 3 月期 通期連結業績予想と実績値との差異 及び
 個別決算における前事業年度の実績値との差異に関するお知らせ

平成 25 年 5 月 10 日に公表した平成 26 年 3 月期通期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）の連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、当社は個別業績予想を開示しておりませんが、個別決算における当事業年度の実績値が、前事業年度の実績値から一定以上変動しましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	250	330	50	5.47
実績(B)	10,381	226	263	△27	△3.02
増減額(B)－(A)	381	△24	△67	△77	—
増減率(%)	3.8	△9.6	△20.3	—	—
(ご参考) 前期実績（平成 25 年 3 月期）	4,986	△190	△30	△126	△13.8

2. 個別決算における前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前事業年度実績(A)	3,050	△562	△164	△205	△22.48
当事業年度実績(B)	3,415	△492	△86	△109	△11.96
増減額(B)－(A)	365	70	78	96	—
増減率(%)	12.0	—	—	—	—

3. 差異が生じた理由

(1) 連結

売上高につきましては、流通する情報データの増大を背景に光通信関連製品の販売が好調に推移し、前回発表予想を上回ることとなりました。損益面では、精機関連で採算性の高い製品の販売が伸びず、原価率が予想を上回った結果、営業損益が前回発表予想を下回ることとなりました。また、持分法適用関連会社において棚卸資産の評価性引当金や貸倒懸念債権等が発生し、持分法による投資損失 114 百万円を計上したことにより、経常損益、当期純損益についても前回発表予想を下回ることとなりました。

(2) 個別

売上高につきましては、光通信関連製品の販売が好調に推移し、前事業年度実績を上回ることとなりました。売上高の増加を受けて営業損益、経常損益、当期純損益はいずれも前事業年度実績を上回ることとなりました。

以 上